

# 平成22年産(21年播種) 麦類生育概況

長野県農業試験場 作物部

調査月日	項目	大麦:ファイバースノウ			小麦:シラネコムギ		
		平年	平成21(播) ~22年(産)	平年比	平年	平成21(播) ~22年(産)	平年比
出芽期	出芽数 本/m <sup>2</sup>	144	187	130	136	160	118
越冬前 (12月15日)	草丈 cm	10.1	9.0	89	13.6	14.8	109
	茎数 本/m <sup>2</sup>	330	373	113	417	315	76
	葉数	3.6	3.3	92	4.2	3.4	81
3月1日	草丈 cm	11.1	9.0	81	13.0	15.1	116
	茎数 本/m <sup>2</sup>	912	709	78	862	809	94
	葉数	5.5	6.2	113	6.3	6.2	98
3月15日	草丈 cm	11.5	12.6	110	13.0	16.6	128
	茎数 本/m <sup>2</sup>	957	1076	112	1258	1208	96
	葉数	6.6	7.3	111	7.1	7.0	99
幼穂形成期		3月3日	2月25日	-6	3月18日	3月15日	-3
茎立期		#####	3月18日※	-3	4月3日	4月1日	-2
出穂期		5月1日	5月5日	+4	5月7日	5月10日	+3
成熟期		6月9日	6月11日	+2	6月22日	6月24日	+2
成熟期	稈長 cm	91	88	97	85	81	95
	穂長 cm	5.0	4.25	85	8.4	7.95	95
	穂数 本/m <sup>2</sup>	396	485	122	494	514	104
収量	子実重 kg/a	61.4	72.9	119	70.3	63.7	91
	容積重 g/l	721	722	100	819	806	98
	千粒重 g	41.2	40.1	97	40.8	39.05	96

※平年値は過去8年間における最大値と最小値と異常高温年の平成18年を除いた平年値

ファイバースノウの茎立期は3月25日からの推定値。

## <耕種概要>

栽培様式: 30cm条間ドリル播

播種期: 大麦 10月30日、小麦10月30日 播種量: 7kg/10a

施肥量(N): 基肥 6kg/10a

## <生育概況>

- 越冬前 大小麦とも出芽数は平年より多かった。12月15日現在、大小麦ともに草丈は平年よりやや長い、葉数、茎数ともに少なかった。
- 越冬中
- 3月1日現在 大麦は草丈・茎数はやや少なく、葉齢はやや大きい。小麦は草丈やや多く、茎数少なめ、葉齢は平年並みであった。
- 3月15日現在 大麦は草丈・茎数・葉齢いずれも平年よりもやや大きく、小麦は草丈はやや長い、葉数・葉齢はほぼ平年並みである。
- 幼穂形成  
~茎立期 幼穂形成期は大麦で6日、小麦で3日早い。茎立期は大麦・小麦とも2、3日早い。
- 出穂期 春先の低温により大麦・小麦とも平年に比べ3日程度遅れた。
- 成熟期 平年に比べ大麦・小麦とも2日遅れであった。稈長・穂長は平年よりやや小さいが、穂数は平年並みからやや多くなった。
- 収量 子実重は大麦で平年より多く、小麦は少なかった。容積重は平年並み、千粒重は僅かに小さかった。